

あそび～な



「あそび～な」は日本財団の助成事業として活動資金を援助していただいています。

誰一人取り残されない地域子育てコミュニティをつくることで、「みんなが、みんなの子どもを育てる」社会を目指すことを目的に活動しています。

6月には、特別講師としてコマまわしの達人たけちゃんにきてもらって、憩いの家を貸していただいている西武明寿会の皆さまをはじめ、地域の方たちに参加していただきました。

子ども達の様子は、言葉で伝えるより、現場で感じていただけるのが一番だと常々考えているので、今回のイベントは、地域の方にお披露目できて、楽しんでいただけたことを大変うれしく思います。子ども達がたけちゃんの演技中に絡んでいく姿、そして、たけちゃんの技に「わー」というどよめき

をその場にいた皆さんと共有できたことで、活動への理解も深まってきました。

当日、「昭和のおやつ」として、西澤さん、田中さんに「やきもち」を作ってもらいました。砂糖醤油のたれをからめてパックにつめて並べたやきもちを「どれがいい？」と、ひとりひとり声をかけてくれました。

子ども達が、どれを選ぶのか見守る姿が微笑ましく、渡すだけでないこの一言が、子ども達にとって自分に声をかけてくれたという大事な感覚になるはずです。



子ども達は大人を先生と呼んでしまうことが多いのですが、地域の大人として関わっているスタッフは「先生じゃないよー」と名札をみせて、名前でも呼んでもらっています。暮らしの中で、出会うことが多いと思われる地域の人なので、名前をおぼえていただけたらいいなと思います。

夏休みも近づき、過ごし方も気になるところです。

これからの予定もお知らせしますので、もしばらくお待ちください。
(馬路 清美)



水あそびしています。

水筒なくても、水道水を紙コップで提供しています。部屋では蚊取り線香をたいて「蚊」対策してます。



水遊びは子ども達だけでルールをつくり遊んでいます。

「集中攻撃はなしねー。」「やめてって言ったらやめるんだよー」「チームにわかれよー」この水遊びには勝ち負けはないようです。たくさん濡れてもそれが楽しいようで、あまり濡れなかったら、自分で水をかぶっていました。普段あまり声を聞いたことのない子が、楽しそうに声を出して笑っている姿は、みているだけで、楽しくなってきました。

そんな遊びの中で、相手のことを考え、自分の気持ちを伝えること。言葉にならなくて、ちょっと、離れてしまったりすることもあるけど、そこを回復することができるのも遊びなんですね。

誰とどのように過ごしてもいい居場所です。常駐スタッフがいるので困ったことは相談してください。

Instagram : irumaasobina